

力あわせて
せいの恵子

住める くらせる 東京に
.....

都議予定候補

看護師・保健師・前北区議会議員

**せいの
恵子**

日本共産党

社民党・新社会党推薦

ホームページ



LINE 公式



せいの恵子さんへの**バトンタッチ**を

7期28年間、ご支援ありがとうございました。今度は医療・福祉の
エキスパート、せいの恵子さんにバトンを引き継がせて下さい。

都議会議員 **そね はじめ**





「自己責任」の押しつけではなく 多様な生き方を サポートする社会へ

今年、2025 年は戦後・被爆 80 年。いま、戦争も核兵器もない世界を求める国際世論が大きく湧き起こっています。私は、憲法 9 条にもとづく平和外交で、平和な世界とアジアを築いていきます。

国内では、長びく物価高騰が暮らしを直撃。貧困や格差、生きづらさの中から寄せられる数々のご相談は、どんなに小さなことでも一つひとつがその人にとって大切なことであり、私は、いつでも身近な相談相手でありたいと、全力で活動してきました。

看護師・保健師として、精神科の現場で働いてきた経験から、生きづらさを抱える人たちには人一倍心を寄せ、北区議会議員としての初質問では、精神障がい者の地域自立支援の問題を取り上げました。

また、ひきこもりやヤングケアラー、性的マイノリティなど、声をあげにくい人たちへの支援の拡充を求めてきました。

競争と分断の中で「自己責任」を押しつける社会から、国や自治体が公的役割をしっかりと果たし多様な生き方をサポートする社会へと、みなさんと一緒に政治を変えていきます。

せいの 恵子

もうガマンも限界！

物価高騰から

暮らしを守る

消費税を **5%** に **減税** インボイスは廃止に

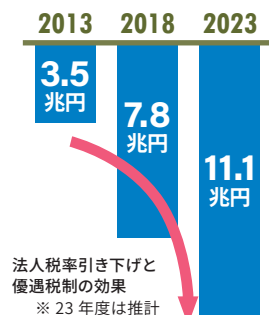


いま、物価高騰から暮らしを守る特効薬は消費税の減税です。日本共産党は消費税廃止をめざしながら、いますぐ5%にすることを緊急提案。5%減税なら平均的サラリーマン世帯で年12万円の負担軽減に。消費税減税は、所得の低い世帯ほど暮らしが助かります。5%の単一税率にすれば、フリーランスや自営業者、中小・零細企業を苦しめるインボイス制度の廃止も可能になります。



5%への減税に必要な15兆円の財源は、大企業・富裕層へのゆき過ぎた減税・優遇の見直しで生み出します。

増え続ける大企業減税



教育費の負担軽減を

学用品・制服・修学旅行は無償に

あるシングルマザーの方から、「制服代が高くて一度にお金を出すのが本当に大変」という声を聞きました。日本のひとり親家庭の相対的貧困率は44.5%、母子世帯の約半分はギリギリの生活です。憲法で「義務教育は無償」(26条)とされているのに、実際にはこうした家庭に、あれこれの教育費の負担が重くのしかかっているのです。

私は、教育費の無償化をさらに前にすすめ、学用品や制服代、修学旅行費も、すべて無償にすることをめざします。

- 賃金引き上げに1人12万円の中小企業支援
- 都との契約で働く労働者の最低賃金を引き上げる東京都公契約条例を制定
- 水道料金を10%値下げ、シルバーパスは無料に
- 1人1万円の生活支援給付金を支給



都内すべての自治体で

学校給食
無償化 **実現!**

日本共産党は、都議会でも区議会でも粘り強く学校給食の無償化を提案し、ついに都内すべての自治体で実現。北区では2023年度から無償になりました。

せいの恵子のお約束



看護師、保健師として医療・介護・保育の現場で働いてきました

誰もが
安心できる

社会保障の充実を

声にならない声を政治に届け 光の当たらない課題にこそ光を

2期5年の区議時代の前は、看護師、保健師として、医療・介護・保育の最前線で働いてきました。今は、保護司としても活動しています。こうした福祉の現場ではいつも、声をあげたくてもあげられない課題がたくさんあると感じてきました。私は、こうした声を政治に届け、光の当たらない課題にこそ光をあてようと、区議会ですまざまな課題を提案してきました。



01 ヤングケアラー支援

介護に従事する子ども、ヤングケアラーの問題を初めて区議会に取り上げました。介護保険制度が機能せず、まともなサービスが受けられない中で、子どもも親も、声をあげることができず苦しんでいます。私の議会質問も契機となり、北区ではヤングケアラーコーディネーターが配置され、小中学生の実態調査が行われるところまで前進しました。



北区が作成した区民向けヤングケアラーリーフレット。小学生版、中学生・高校生版、大人版の3種類があります。



02 介護事業所を守れ

自公政権が訪問介護事業所の基本報酬を引き下げたことによって、事業者が倒産・廃業の危機に。私は、日本共産党区議団の一員として区内訪問介護事業所の実態調査に参加。結果を記者会見で公表し、報酬の引き上げや事業所への直接支援を求めました。

- 国保料・後期高齢者医療保険料を1人3万円引き下げ、18歳までは無料に
- 介護、障がい、保育など福祉労働者の賃金引き上げ
- 心身障害者（児）医療費助成の対象を拡大。障害者福祉手当、重度障害者手当の増額を

03 ひきこもり支援

内閣府の調査では日本人のおよそ100人に1人がひきこもり状態に。その要因は、いじめや職場での人間関係など様々です。私は区議会で、ひきこもり当事者や家族への支援を繰り返し要請。電話相談や居場所づくり、家族会と連携した「地域の集い」が実現しました。



せいの恵子のお約束



誰もが個人の尊厳や人権を守られる

ジェンダー平等の実現を

生理用品の 無料設置を

貧困と格差がより深刻となったコロナ禍で、経済的理由などで生理用品を入手できない「生理の貧困」が社会問題に。私は当時、北区議会で初めてこの問題を取り上げ、学校などへの生理用品の無料設置を提案。今では、区立小中学校トイレへの生理用品設置、区役所トイレへの無料ナプキンディスペンサー設置が実現されています。

年齢・発達にそくした 包括的性教育の実施を

学校での性教育の現状をふまえ、子ども、若者の年齢や発達に適した包括的性教育を公教育に位置づけるよう求めています。

性教育実態
調査結果を
記者会見



日本共産党都議団
の提案で

痴漢対策が大きく前進

痴漢は、女性にとっては最も身近な性犯罪です。日本共産党都議団は、独自の被害実態調査をふまえて「痴漢ゼロ」の対策を要求。ついに東京都も2023年度から「痴漢撲滅プロジェクト」を開始し、都として初めて実態調査を実施。今では、受験シーズンや年度はじめのキャンペーンを行うところまで、国と都を動かしてきました。



日本共産党
せいの恵子

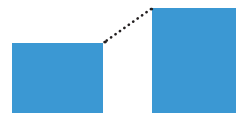


ストップ 再開発

暮らせる北区・東京に

● 23区マンション販売価格

4年間で**1.5倍**



● 都内新築マンション平均価格

1億1,181万円

／ 年収の**18倍** ／

「アパートから立ち退きを迫られているが、今の収入で入れる住宅が見つからない」——東京の住宅家賃は爆上がり、バブル期を超える異常事態です。大規模な容積緩和や大手開発業者に減税や優遇をほどこす異次元の金融緩和によって、「特区」とされた都内のあちこちにタワーマンションを呼び込む再開発が急速に広がり、住宅家賃を引き上げているのです。住民の生活より儲けを優先するまちづくりは十条や赤羽の駅前でも。私は、まちの魅力を残し、コストも節約できる修復型まちづくりに切り替えることで「住み続けられる東京」をめざします。

せいの恵子のお約束

- 住民合意のない大型開発や道路建設は見直しを
- 住宅困窮世帯や子育て世帯、若者や高齢者、シングル女性などへの家賃補助制度を創設



“まち壊し”の 大型開発を推進

自民
公明
都ファ
維新

自民、公明、都民ファ、維新は1000本もの樹木を伐採する神宮外苑再開発を容認、北区でも赤羽駅前などの市街地再開発計画を推進しています。

“いつでもチャレンジ”

Step up Life せいの恵子はこんな人

せいの恵子プロフィール ● 1973 年、北区滝野川生まれ ● 滝野川第三小、滝野川中、都立向丘高卒 ● 看護師、保健師の資格を取得し、医療・介護・保育の現場で専門職として働く ● 北区議会議員（2 期）。防災対策特別委員長、区民生活副委員長などを歴任。保護司としても活動 ● 2024 年、区議会議員の職を辞して都議会議員補欠選挙に挑戦 ● 家族は夫と2 女 ● 趣味は読書、歌うこと、手織り



1970s

生まれも、育ちも 滝野川

3 人きょうだいの長女で、おばあちゃんっ子でした。3 歳の頃から日本舞踊を習い、滝野川中学ではバスケット部に所属。退部した後は、自ら茶道部を立ち上げました。



1990s

文京区役所を経て 和光大に

都立向丘高校では空手部に所属し黒帯を取得。高校を出て文京区役所に就職し、その後、障がい者を支援する仕事に就きたいと、和光大学に入学しました。在学中に現在の夫と出会い、結婚。

2000s

都立看護学校、 都立病院に勤務、 千葉大、そして 台東区役所へ

その後、都立看護学校に通い、看護師の資格を取得しました。都立豊島病院の精神科に勤務する中では、たくさんの患者さんに会いました。

人と地域のつながりに興味を持ち、地域のことがもっと知りたいと千葉大に編入学。ここで、保健師の資格を取得しました。

民間の病院やクリニックに勤務した後、台東区役所に入職。看護師として4 年間、保育園に配属となり、子どもの健康管理に従事。ついで介護保険課に異動。福祉の第一線で働いてきました。

2010s

区議会議員選挙で 北区議に当選

2019 年4 月の区議会議員選挙に、父・やまき直人元区議の後継者として立候補、2,749 票を獲得して初当選しました。1 期目から健康福祉委員会副委員長の重責を担い、2023 年の区議選で2 期目に当選。



都議会で19議席・野党第一党

日本共産党都議団を さらに大きくしてください



日本共産党

せいの子の恵子

抜群の提案力で次々と 都民要求を実現してきました

日本共産党都議団は、国会なら100議席に匹敵。これまで議会での提案で、シルバーパスの値下げ、18歳までの子ども医療費無料化、補聴器購入費助成の拡充などを、次々と実現してきました。

シルバー
パス
値下げ

子ども
医療費
無料化

補聴器
購入費
補助

都政のムダ使いにメス 自民党の裏金疑惑を徹底追及

小池都政は、お台場に26億円かけた巨大噴水の建設を表明。日本共産党はムダ使いにメスを入れ、都議会自民党の裏金疑惑を徹底追及しています。



力をあわせてがんばります



参議院議員
小池晃



参議院議員
吉良よし子

せいの子の恵子さんに期待します



新社会党
北区議会議員
福田光一



やさしいまちを
つくる会さた副代表
橋本やすこ

比例は日本共産党

新しい北区 2025年5・6月号外 発行／新しい北区社(北区中十条3-5-15)

日本共産党北区議会議員会は新たな政策を発表しました。
お問い合わせは、電話 3906-2821 FAX 3906-3225